



2021年9月15日
VOL 27

みえケアマネ通信

●緊急アンケート調査

新型コロナワクチン接種状況緊急アンケート調査にご協力下さい。一定程度で終了します。



※9月30日(木)までにお願いいたします。



一般社団法人 三重県介護支援専門員協会

会長 奥田隆利

「本年度改正の一つ目の柱である 感染症・災害対策の強化に関連して」

会員の皆様方におかれましては、平素より当協会の事業にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、コロナ禍において感染対策及び熱中症対策に細心の注意を払い、ケアマネジメント業務を遂行されているものと、心労をお察しします。

さて、本年度から三重県におきましても、介護支援専門員の資質向上研修が、原則従来の「集合対面型研修」からオンラインでの「リモート研修」へと切り替えられました。開始前の検討会におきましては、各受講生のネット環境や使用できるデバイスが異なり、トラブルが発生しないか等心配し

おりましたが、事務局や講師そして受講生も徐々になれてきた様です。

法定研修における当協会の役割は、専門Ⅰ・Ⅱのカリキュラムの点検や講義資料の作成、そして講師やファシリテーターの選定・調整を主に担つており、三重県長寿介護課ならびに介護支援専門員試験・研修センターと協力体制を構築し、受講生の皆様がより安全な環境のもとで、日々のケアマネジメント実践を振り返つていただけます。（静岡県支部には会員の災害対策活動支援金として五万円を7月26日付で寄付させていただきました）

当協会としましても、今後の災害対策におけるBCPについて今年度中に総務部会災害対策委員会を中心に検討してまいります。今後とも会員各位のご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

災害への対応力強化」です。居宅介護支援事業所や介護保険施設等が各々のBCPをしっかりと整備するよう義務づけられています（猶予期間あり）。よう、当協会と致しましては、介護支援専門員がケアマネジメント業務を継続で確実に行えるよう、法定研修のお手伝いをすることが重要な役割であると認識しております。

毎年9月1日は防災の日です。今年7月には、静岡県熱海市伊豆山地区における土石流災害が発生しました。静岡県支部は、災害が発生した翌日には対策本部を立ち上げ、約3週間にわたり避難所等を保健所の保健師とともに巡回相談の支援をされました。東海ブロックの仲間として、また災害対策としては非常に意識が高く様々な研修等を積み重ねてこられた支部としてリスクベクトルとして、今後も協力体制を維持強化し、今回の体験をご教授いただければと考えております。（静岡県支部には会員の災害対策活動支援金として五万円を7月26日付で寄付させていただきました）

特別企画

多様なフィールドで活躍する介護支援専門員

活躍する介護支援専門員

今号では特別企画として、「多様なフィールドで活躍する介護支援専門員」をテーマに県内で活躍する五名のケアマネジャーさんに、アンケート形式で質問に答えて頂きました。「あるあるネタ」や「気付き」の解答が大変参考になります。回答頂いた皆さん、ありがとうございました。

アンケート内容

- 問① 事業所のケアマネジャーとしてどのような仕事をされていますか？
問② ケアマネジャーとして楽しかったこと、よかつたこと、うれしかったこと等を教えてください。
問③ ケアマネ協会に期待することは？
問④ その他に何かありましたら一言。



グループホームやまぶき
北村 美由

- 問① グループホームは、居宅に近い施設であり、認知症を患つてみえる方が入所される施設であります。そのため、入所者の収容人数は少ないものの多種多様な仕事内容を求められる職場でもあると思います。一般的なケアマネ業務から始まり、入居者様の気持ちに寄り添い、また、ご家族様のご要望に応えるべく、一緒にお墓参りに行ったりもします。
- 問② 認知症であるがゆえに短期記憶の部分
- 問③ 施設ケアマネの難しさを痛感する毎日で、施設ケアマネに対する勉強会等があると有難いです。

日本介護支援専門員協会

社員総会報告

三重県介護支援専門員協会 副会長 花井 裕子

令和3年6月27日に第十二回社員総会が開催されました。議事は次第に沿って決議事項、報告事項の順に代議員と担当役員の質疑応答を重ねながら進行し、決議事項の議案はいずれも承認されました。

報告事項は令和3年度事業計画ならびに收支予算のほか規定の改正や制度に関する国の動き等の報告がなされ、「介護支援専門員協会倫理綱領解説」については平成21年以来初めての見直しになります。報告第四号において、特に会員の皆様にお伝えしてほしいと強調されたことは、介護支援専門員の公正中立についての報告でした。

財政制度審議会においては、春の建議に向けた議論の資料の中に、「事業所の約九割が他の介護サービス事業所に併設しており、法人・上司からの圧力により、自法人のサービス利用を求めら

れたという経験を見聞きした介護支援専門員が約四割いるなど、サービス提供に公正中立性の問題が存在。』とあるが、単なる見聞きしたレベルの調査結果では実情を示すデータとしては不十分であるという問題点がありました。しかし残念ながら僅かもそのような介護支援専門員が存在することによって全体に大きな影響を及ぼすことがあることは、我々一人一人が認識すべきことだと感じました。



伊勢慶友病院介護医療院

松尾
としみ



スイート看護小規模多機能ケア事業
服部 智美

問① ご高齢で医療サポートが必要な方が、在宅生活を継続できるよう、今は主に退院時から在宅移行の支援をさせていただくことが多いです。

問② 病気が快復されお元気になられることが満足なさった様子は感慨深いです。5月に開設したばかりで戸惑いもありますが、看多機という新しい形態サービスで、看護師と一緒に地域にどのように



問① 医療ニーズが多いので、看取りやターミナルケアも含め、入所者様、家族様がともに安心して長期療養できるよう、他職種連携、協働のための働きかけやプラン作成、相談しやすい関係づくりに努めています。

問② よかったことは、療養型病棟からの転換のため、医療、看護サービスが継続して受けられること、主治医や看護師への相談がしやすいこと。うれしいことは、意思疎通がよつてても違いがないので、他事業所との繋がりや情報共有がさらにしやすくなることがあります。

問③ ケアマネジャーの業務は居宅と施設の違いだけでなく、施設によつても違います。そこで、他事業所との繋がりや情報共有がさらにしやすくなることがあります。



公益社団法人地域医療協議会志摩地域医療介護センター
志摩市介護老人保健施設 志摩の里
小村 かおり

問① 私の勤務する志摩の里は百床の介護老人保健施設で五十床の利用者様のケアマネジメントを担当しています。超強化型介護老人保健施設で一ヶ月間の入所者・退所者共に二十五名以上と回転率は高く私が一ヶ月間に作成する施設サービス計画書は三十五件以上、サービス担当者会議も二五件以上です。

問② やはり紙オムツから紙パンツに、紙パンツから布パンツに変更できたり、車椅子から歩行器に移行していく



問① 施設相談員業務を兼務しております。新規利用者様の面接から始まり、利用者様や家族様との対応やケアプラン立案等行います。又、各種委員会に参加する等、仕事柄、多方面な業務も多く日々、過ごしております。ですが、利用者様の居室に入れば、何か一つ「笑顔」を引き出してから退室しようと思つてします。

問② 月並みですが、利用者様や家族様と関わりの中で、利用者が増えしていくことが、楽しみです。

社会福祉法人敬親会 特別養護老人ホームさわやか園

小田 永



公認社会福祉士
志摩市介護老人保健施設 志摩の里
小田 永

問① 私の勤務する志摩の里は百床の介護老人保健施設で五十床の利用者様のケアマネジメントを担当しています。超強化型介護老人保健施設で一ヶ月間の入所者・退所者共に二十五名以上と回転率は高く私が一ヶ月間に作成する施設サービス計画書は三十五件以上、サービス担当者会議も二五件以上です。

問② 施設ケアマネでは施設では少數の職種では、悩みが相談する事です。維持が大切な目標となる方もいる事ですが、ベッド上で終日過ごされていた利用者が喜んで下さる利用者様・家族様に出逢える事です。

チーム大台包括

大台町地域包括支援センター
主任介護支援専門員
木下 聰子



私は大台町で生まれ、学生時代は京都で過ごしました。大台町愛に溢れ平成八年に大台町社会福祉協議会に入社。デイサービスセンター、小規模作業所、居宅介護支援事業所での勤務を経験した後、平成27年から大台町役場の地域包括支援センターへ主任介護支援専門員として出向しています。七年目にして主任介護支援専門員としての役割や、三職種の専門性の違いが分かり、意識して業務に携われるようになりました。メンバーの三職種もそれぞれの視点が違うことを意識し、補い合い、分担しあえる、チームワークを發揮しています。

「いつも元気ですね」と言われますが、自分でも日々仕事に充実感があり、元気に過ごせていると実感しています。『今日より明日、一つでも成長したい。出会った人

私は大台町で生まれ、学生時代は京都で過ごしました。大台町愛に溢れ平成八年に大台町社会福祉協議会に入社。デイサービスセンター、小規模作業所、居宅介護支援専門員として出向しています。七年目にして主任介護支援専門員としての役割や、三職種の専門性の違いが分かり、意識して業務に携われるようになりました。メンバーの三職種もそれぞれの視点が違うことを意識し、補い合い、分担しあえる、チームワークを発揮しています。

日頃心掛けていることは姿勢良く過ごすこと、マスク越しでもわかる笑顔、感動する心、尊敬する心、いつも楽しむ心を持つことです。

介護支援専門員時代、利用者との訪問時に遅刻した理由を話すと「言い訳はしない。まず謝りなさい」と叱られました。また、「笑

に幸せになつてもらいたい、出会った人から何かを学びたい。』

中学生までは、くよくよいつも悩む性格だったのですが、環境や人の出会いによりポジティブ思考に変わり、頼まれたことは断らずにしたいと思うようになりました。

最後になりますが、私は大台町を知つてもらいたい、好きになつてもらいたいという気持ちがいつもあります。

そして、大台町地域包括支援センターを愛しています。

大きな目標は「県ナンバーワンの地域包括支援センターになること」で、現在のメンバーになつてからこの思いはずつと変わっていません。

家の前を出発するまでその笑顔を絶やしてはいけない。』と注意を受けたことは、十年以上たつた今でもありがたい言葉だつたと感謝し、その行動は生活に溶け込んでいます。

現在、チームワーク作りの一

つとして包括のメンバーが信条、座右の銘とする格言を順番にホワイトボードに披露し合っています。仲間の考え方や価値観、性格を理解し合つていれば助け合いもしやすく、和やかに過ごせて相談者に寄り添つた支援ができると考えています。時にはネガティブな思考に陥る時もありますが、その時は仲間がポジティブな励ましを与えてくれます。

○事務局だより

●アンケートご協力のお願い

広報誌「ケアマネ通信」・ホームページについての匿名アンケートです。今後の広報活動に役立てていきたいと思いますので、ぜひご協力ををお願いいたします。名前やメールアドレスは入力不要です。3分程度で終了します。



<https://forms.gle/iW9nFkgTzB5t5KHj9>

●ご登録内容に変更がある場合は、変更届の提出をお願いいたします。



<http://mie-cma.sakura.ne.jp/wp/wp-content/uploads/2020/01/d7347c9b1137d3f81b39805c803e27fd.pdf>